

1 学習内容の説明 ⇒ 2 問題演習 ⇒ 3 振り返り(確認テスト・相互採点・リフレクションの記入)

【態度目標】しゃべる、質問する、説明する、動く、協力する、貢献する

【内容目標】確率分布を求められるようになるろう

□確率変数と確率分布

2 枚の硬貨を同時に投げるとき、表と裏の出方には

(表, 表), (表, 裏), (裏, 表), (裏, 裏)

の4通りの場合がある。

この試行において、表が出る硬貨の枚数を  $X$  とすると、 $X$  のとりうる値は、0, 1, 2 であり、 $X$  がこれらの各値をとる確率は、右の表のようになる。

|     |               |               |               |   |
|-----|---------------|---------------|---------------|---|
| $X$ | 0             | 1             | 2             | 計 |
| 確率  | $\frac{1}{4}$ | $\frac{2}{4}$ | $\frac{1}{4}$ | 1 |

この  $X$  のように、試行の結果によってその値が定まり、各値に対応して確率が定まるような変数を **確率変数** という。

一般に、確率変数  $X$  のとりうる値が  $x_1, x_2, \dots, x_n$  であり、それぞれの値をとる確率が  $p_1, p_2, \dots, p_n$  であるとき、次が成り立つ。

$$p_1 \geq 0, p_2 \geq 0, \dots, p_n \geq 0$$

$$p_1 + p_2 + \dots + p_n = 1$$

|     |         |       |   |         |   |
|-----|---------|-------|---|---------|---|
| $X$ | $x_1$   | $x_2$ | ⋯ | $x_n$   | 計 |
| $P$ | $\{p_1$ | $p_2$ | ⋯ | $p_n\}$ | 1 |

和が1となる

確率変数  $X$  のとりうる値とその値をとる確率との対応関係は、上の表のように書き表される。この対応関係を、 $X$  の **確率分布** または **分布** といい、確率変数  $X$  はこの分布に **従う** という。

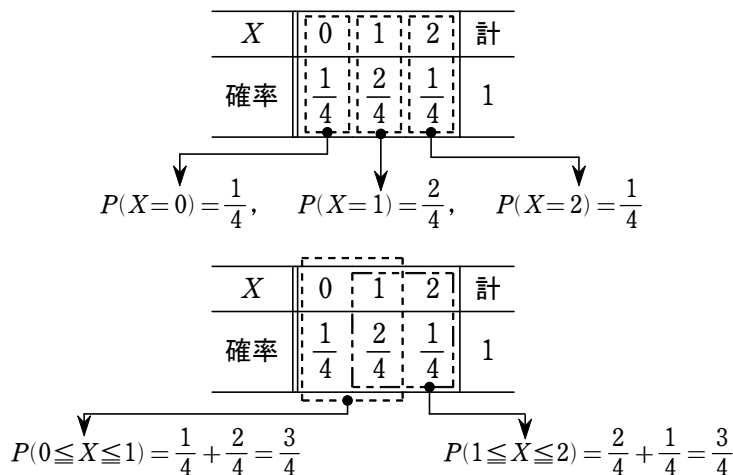
確率変数  $X$  が値  $a$  をとる確率を  $P(X=a)$  で表す。

確率変数  $X$  が  $a$  のときの確率

また、 $X$  が  $a$  以上  $b$  以下の値をとる確率を  $P(a \leq X \leq b)$  で表す。

確率変数  $X$  が  $a$  から  $b$  までのときの確率

先ほどの硬貨を投げる例の確率変数  $X$  については、次のようになる。



□確率分布の求め方

例題1) 白玉2個と黒玉3個の入った袋から、3個の玉を同時に取り出すとき、出る白玉の個数を  $X$  とする。 $X$  の確率分布を求めよ。

全事象は区別をなくして  
5個から3個選ぶこと  
 ${}_5C_3 = {}_5C_2 = \frac{5 \cdot 4}{2 \cdot 1} = 10$

解答)  $X$  のとりうる値は、0, 1, 2である。  
各値について、 $X$  がその値をとる確率を求めると

$$P(X=0) = \frac{{}_3C_3}{{}_5C_3} = \frac{1}{10}$$

黒玉3個から3個選ぶこと  ${}_3C_3 = 1$

$$P(X=1) = \frac{{}_2C_1 \times {}_3C_2}{{}_5C_3} = \frac{6}{10}$$

白玉2個から1個、黒玉3個から2個選ぶこと  
 ${}_2C_1 \times {}_3C_2 = {}_2C_1 \times {}_3C_1 = 2 \times 3 = 6$

和を計算・確認しやすくするために約分はせずに

$$P(X=2) = \frac{{}_2C_2 \times {}_3C_1}{{}_5C_3} = \frac{3}{10}$$

よって、 $X$  の確率分布は右の表のようになる。

|     |                |                |                |   |
|-----|----------------|----------------|----------------|---|
| $X$ | 0              | 1              | 2              | 計 |
| $P$ | $\frac{1}{10}$ | $\frac{6}{10}$ | $\frac{3}{10}$ | 1 |

練習2) 2個のさいころを同時に投げて、出る目の和を  $X$  とする。 $X$  の確率分布を求めよ。

2個のさいころと言えば表で処理

さいころの出る目と目の和を表にまとめると右のようになる。

$X$  のとりうる値は

2, 3, 4, ……., 11, 12

である。

各値について、 $X$  がその値をとる確率を求めると、 $X$  の確率分布は次の表のようになる。

|   |   |   |   |    |    |    |
|---|---|---|---|----|----|----|
| \ | 1 | 2 | 3 | 4  | 5  | 6  |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5  | 6  | 7  |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6  | 7  | 8  |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7  | 8  | 9  |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8  | 9  | 10 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9  | 10 | 11 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |

|     |                |                |                |                |                |                |                |                |                |                |                |   |
|-----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---|
| $X$ | 2              | 3              | 4              | 5              | 6              | 7              | 8              | 9              | 10             | 11             | 12             | 計 |
| $P$ | $\frac{1}{36}$ | $\frac{2}{36}$ | $\frac{3}{36}$ | $\frac{4}{36}$ | $\frac{5}{36}$ | $\frac{6}{36}$ | $\frac{5}{36}$ | $\frac{4}{36}$ | $\frac{3}{36}$ | $\frac{2}{36}$ | $\frac{1}{36}$ | 1 |